

令和3年度 松本神映幼稚園 「自己評価および関係者評価」

1. 園の教育目標

育て 神映の木
「自立」の根を張り、「体験」で幹を太らせ、「交流」で枝を伸ばそう。

「自立の根」 生活のリズムや習慣を確立し、安定・安心した園生活を送る。
「体験の幹」 周りの環境に働きかけ、達成感を味わいながら自信を深める。
「交流の枝」 友だちと共に活動を楽しみ、思いやりと社会性を身に付ける。

2. 本年度の重点活動

「自立」 生活のリズムや習慣を確立し、安心の園生活を送ります。
「体験」 火曜日を体験の日とし、さまざまな活動にどんどんチャレンジします。
「交流」 異年齢交流や集団あそびで、豊かな人間関係を築きます。

3. 主体的な学びへの支援

①友達との関わり 集団遊びや伝え合い ②素材遊びの充実 アイデアややり方の共有
③育ちを支える活動や遊びを 場づくりや共感と認め

4. 自己評価

A…十分達成されていると思う B…達成されていると思う
C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う D…取り組みが不十分であると思う

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	1 園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	2 教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	3 常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	4 事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	5 園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	6 園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	7 法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	8 日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	9 幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	10 保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	11 本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	12 園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	13 園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
地域との連携	14PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	15 地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	16 保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	17 子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・コロナ対応については、おおむね高評価。感染防止対策とともに「学びを止めない」という信学会の方針が多くの方に認められている。休園後は、一層の対策を求める声強い。
- ・情報発信については、レーザーキッズでタイムリーな連絡ができていたもの特に連絡帳の要望も多い。
- ・体験、口コミ、SNS が園児募集の柱となるが、園公開の実施と HP の充実の他、弟妹を大事にしていくも大事。
- ・園の教育方針は分かりやすくよいと評価が高い。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・主体的な活動に目を向けた保育への転換が行われつつある。子どもたちの意識が変わり、自ら行う意識、やろうとする意欲や方法、達成感と自信などが感じられるようになってきているので続けたい。
- ・園の教育方針は、基本的には来年度もこの方向を継続していく。
- ・PTA 活動は、総会も書面決議で活動のほとんどが未実施だった。大幅な見直しと共に、園を知ってもらい良い機会なので、割り振りではなくボランティア活動としての方向を模索したい。
- ・園児募集では来て見て体験していただくことを中心に、SNS の活用をさらに図っていきたい。